



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

群馬県 高崎市立群馬中央中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- **目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- **事業名** : JOCオリンピック教室
- **主催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- **後援** : スポーツ庁
- **協力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- **対象** : 中学2年生
- **講師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- **期間** : 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- **実施校数** : 80校程度
- **実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、
今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック** : 宮下 純一 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年6月29日(水)

■ **ク ラ ス** : 2年1組/運動の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



・北京2008大会の水泳/競泳競技の日本代表として出場したと自己紹介した後、運動の時間では、オリンピックを身近に感じてもらい、オリンピックとはどのようなものなのか、改めて確認してもらえよう楽しい時間にしたと授業の目的を確認。オリンピックシンボルの5つの輪には、どのような意味があるかを生徒に問い掛け、5つの大陸を表し、スポーツで輪になっていこうという意味が込められていると伝え、準備体操に移る。

○主運動 等



・準備運動では、「新聞じゃんけんバランス」を実施(全2回)。広げた新聞紙の上に立ち、じゃんけん勝負で負け、あいこは新聞紙を手で半分に折り、2回目は足で折るルールに変更し、新聞紙の上にいつまで立っていられるかを、最後の一人になるまで行う。
 ・主運動では、新聞紙ボール運びリレーを実施(全3回)。3チームに分かれ、2人1組になり、新聞紙の上にボールを乗せ、折り返し地点のコーンを回り、次のペアにボールを繋ぎ、如何に早くゴールできるかに挑戦した。



・運動の時間を振り返り、オリンピックでも選手は作戦を考えながら挑んでいる。作戦タイムでは、意見を共有することで皆の気持ちを同じにして、勝負に挑む気持ちが大切であることを感じてもらうために実施した。次の座学の時間では、皆の気持ちが高まったのを忘れずに、オリンピックについて掘り下げて話していきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 宮下 純一 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年6月29日(水)

■ **ク ラ ス** : 2年1組/座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・オリンピック出場を決めた選考会と北京2008大会の映像を紹介し、水泳/競泳競技には派遣標準記録があり、選考会の決勝では派遣標準記録を突破した上で2位以内に入らないと日本代表になることはできないと説明。オリンピックバリューの3つの価値である「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について、自身の経験を交えながら、皆の日常生活にも関わっていることを話していきたいと伝え、授業の目的を確認。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問 : ①日常生活を振り返り、皆の中でのオリンピックバリューを感じる場面を思い返して書き出そう。

②コロナ渦で生活しながら感じたオリンピックバリューを書き出そう。

発表 : エクセレンス : 「継続が大事なので結果がでなくても頑張れた」「諦めずに努力し、レギュラーを獲得できた」等

フレンドシップ : 「練習が大変だった時、仲間が背中を押してくれた」「仲間を応援した」「相談に乗ってくれた」「お互いに声掛けをした」等

リスペクト : 「仲間の意見を尊重した」「応援してくれる家族や運営の人に感謝した」等



・運動の時間と座学の時間を通して、オリンピックを身近に感じてもらえたと思う。自分自身が好きなことをしている時が、1番伸びる時期だと思う。部活動や夢や目標に向かって努力し、諦めずに頑張ってください。自分の好きなことを見つけて長く続ければ、きっと日本一や世界一に繋がっていく。今後開催されるオリンピックを見る時に、選手がどのような気持ちを持って挑んでいるのかを感じ、考えながら見ることでオリンピックをより楽しむことができる伝え、授業終了。

- **オリンピック** : 畑中 みゆき 先生 (スキー/フリースタイル)
【出場オリンピック/ソルトレークシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会】
- **期 日** : 2022年6月29日(水)
- **ク ラ ス** : 2年2組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・スキー/フリースタイル/モーグル競技をしていたと競技の説明と自己紹介をした後、オリンピックバリューのエクセレンスには「一生懸命に頑張る」という意味があるが、今日は気温も高いため、自分の体を気遣うことにベストを尽くしてほしいと、授業の目的を確認。オリンピックバリューには「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つの価値があると意味を説明し、運動の時間では、オリンピックバリューを意識して授業に取り組んでほしいと伝え、準備体操に移る。

○主運動等



・準備体操では、ストレッチを実施後、①じゃんけん勝ち抜け(全3回)、②ラダートレーニング(全2回)を実施。
・主運動では、8の字跳び(全3回)を実施。3チームに分かれ、40秒間で引っ掛かっても続きから数え、如何に多く跳べるかを競う。開始前に練習、作戦タイムを設け、より多く跳ぶための作戦を話し合う。



・運動の時間を振り返り、皆が一生懸命頑張っていて、仲間を応援していたことはオリンピックバリューに繋がっていた。運動を通して何か感じることができたと思う。次の座学の時間では、オリンピックバリューは運動の時間で取り組んだことや部活動等の日常生活の中にも関わっていることや、オリンピックでの経験を通して感じたことを掘り下げながら伝えていきたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック** : 畑中 みゆき 先生 (スキー/フリースタイル)
【出場オリンピック/ソルトレークシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会】
- **期 日** : 2022年6月29日(水)
- **ク ラ ス** : 2年2組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・東京2020大会を見て、何を感じたかを尋ねた後、ピエール・ド・クーベルタンが提唱した近代オリンピックは、スポーツを通して世界の国と地域の選手が集まり世界平和を願うという意味や日本にオリンピックを招致した嘉納治五郎氏を紹介。ソルトレークシティー2002とトリノ2006の両冬季大会の映像を見せ、競技について説明し、オリンピックバリューの3つの価値について、皆の日常生活の中にも関わっていると伝える。

○個人ワーク～グループワーク等



- 発問 : ①個人ワーク : 部活動や勉強等、身近な事や夢を達成するために、どのような事をすればよいか、必要な事は何かを考えてみよう。
②グループワーク : 8の字跳びを振り返り、オリンピックバリューのどこに当てはまるか考えてみよう。
- 発表 : ①「自分の個性を隠さず、自分らしく生活する」「今できない事を地道に練習を積み重ね、できるまで挑戦する」等
②エクセレンス : 「最後まで諦めずに取り組んだ」「早く跳ぶことを諦めなかった」等
フレンドシップ : 「跳ぶ時の声掛けを意識した」「励まし合った」「息を合わせた」等
リスペクト : 「正しく記録を申告した」「8の字で跳ぶというルールを守った」等



・オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」は、オリンピック選手だけのものではなく、皆の日常生活の中にも存在している。これから歩んで行く中で、オリンピックバリューを少しでも意識してほしい。今後、夢や目標に向かっていく中で、失敗や挫折することもあるが、柔軟性を持ちながら何事にも諦めずに挑戦してほしいと伝え、授業終了。

- **オリンピック** : 畑中 みゆき 先生 (スキー/フリースタイル)
【出場オリンピック/ソルトレークシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会】
- **期 日** : 2022年6月29日(水)
- **ク ラ ス** : 2年3組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・自己紹介の後、オリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つの価値について、生徒に問い掛けながら意味を説明し、学校内で皆が自然と挨拶してくれたことはリスペクトに当てはまると伝えた。運動の時間では、オリンピックバリューの3つの価値を意識しながら取り組んでほしいと授業の目的を確認し、準備体操に移る。

○主運動等



・準備体操では、ストレッチを実施後、①じゃんけん勝ち抜け(全3回)、②ラダートレーニング(全2回)を実施。
・主運動では、8の字跳び(全3回)を実施。3チームに分かれ、40秒間で引っ掛かっても続きから数え、如何に多く跳べるかを競う。開始前に練習、作戦タイムを設け、より多く跳ぶための作戦を話し合う。作戦タイムの前に、オリンピックバリューの意味を再確認し実施。



・運動の時間を振り返り、皆で声を掛け合っていたり、縄の持ち方を工夫したりと自然と考えながらできていた。これはオリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」に当てはまる。次の座学の時間では、運動の時間で感じたオリンピックバリューをさらに掘り下げて話していきたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック** : 畑中 みゆき 先生 (スキー/フリースタイル)
【出場オリンピック/ソルトレクシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会】
- **期 日** : 2022年6月29日(水)
- **ク ラ ス** : 2年3組/座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・東京2020大会を見て感じたことを生徒に尋ね、「名言が生まれる」「感動と勇気をもらった」等の声が集まった。ピエール・ド・クーベルタンが提唱した近代オリンピックは、スポーツを通して世界の国と地域の選手が集まり、世界平和を願うという意味や日本にオリンピックを招致した嘉納治五郎氏を紹介。ソルトレクシティー2002とトリノ2006の両冬季大会の映像を見せ、途中でルールが変わったこと、競技用具の変更等について説明した後、オリンピックバリューの3つの価値は、皆の日常生活の中にも深く関わっていると、授業の目的を確認。

○個人ワーク～グループワーク等



- 発問：①個人ワーク：部活動や勉強等、身近なことの夢を考えてみよう。
②グループワーク：8の字跳びの時間を振り返り、オリンピックバリューのどれに当てはまるかを考えてみよう。
- 発表：①「部活動で先輩を抜いて、全ての大会に出場したい」「サッカーで全国優勝する」等
②エクセレンス：「ベストを尽くした」「縄の回し方や持ち方の工夫をした」「なるべく続けるよう努力した」等
フレンドシップ：「声掛けをした」「皆の意見を取り入れた」等
リスペクト：「拍手を贈る」「チームの仲間をお互い分かり合ってプレーする」「制限時間を守れた」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つの価値は、オリンピックだけのものではなく、皆の日常生活の中にも繋がっている。夢や目標に向かって進む時に、声に出すことで自分の糧になる。これからの人生において、諦めずに何事にも挑戦してほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 宮下 純一 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年6月30日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年4組/運動の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



・北京2008大会に水泳/競泳競技の日本代表として出場し、メドレーリレーで銅メダルを獲得したと自己紹介した後、オリンピックをより身近に感じてもらえる時間にしたいと、授業の目的を確認。オリンピックシンボルの5つの輪は5大陸を意味し、スポーツを通して輪で繋がるという意味も含まれていると説明し、準備運動に移る。

・準備運動として、7種類のストレッチを行った後、掛け声を掛けながら、体育館内をランニングし、続いて、新聞じゃんけんバランスを実施。

○主運動 等



・主運動として、新聞ボール運びリレー(全3回)を実施。2班1チームになり、1回目はバレーボールを使用し、2回目以降は「バスケットボール」「ソフトボール」「ソフトテニスボール」「ピンポン球」と種類を増やし、どのボールを使用するか、ペア、走順等を決める作戦タイムを設けた。如何に早くゴールできるかに挑戦した。



・結果発表後、各チームの作戦内容を確認し、気を付けていたことを発表し合った。3回目で1番の力を出せるように作戦タイムを設け、1回目になぜ失敗したのかを確認することで次に繋ぐことができ、これはスポーツだけではなく、勉強にも当てはまると伝えた。

・運動の時間を振り返り、お互いに声を掛け合っていたことを称え、次の座学の時間では、オリンピックを目指すまでの過程や、学んだことを話していきいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 宮下 純一 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年6月30日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年4組/座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・オリンピック出場を決めた選考会と北京2008大会の映像を紹介しながら、水泳/競泳競技を紹介し、メドレーレーでメダルを獲得するという目標を立て、その目標に向かってチーム全員で練習を続けることができ、結果、目標であった銅メダルを獲得することができた。オリンピック出場に至るまでに、様々な困難を乗り越え、ライバルがいたからこそベストを尽くすことができ、何より練習も一生懸命に頑張ったことはオリンピックバリューに当てはまり、皆の学校生活や日常生活の中にも同じようにオリンピックバリューが存在していると伝える。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問 : ①日常生活を振り返り、皆の中でのオリンピックバリューを感じる場面を思い返して書き出そう。

②コロナ渦で生活しながら感じたオリンピックバリューを書き出そう。

発表 : エクセレンス : 「目標に向かって頑張る」「大舞台で諦めずに全力で取り組む」「試合に出場できないこともあったが、努力して出場できた」等
フレンドシップ : 「チームのために声を出して鼓舞する」「仲間と協力し合って球技大会で優勝できた」等
リスペクト : 「ライバル同士でもアドバイスし合ってお互いを高めあう」「支えてくれる両親に感謝する」等



・座学の時間を振り返り、授業の最初に伝えたオリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つの価値は、これからの人生を歩んでいく中で意識しながら、夢や目標に向かって挑戦してほしい。今後、開催されるオリンピックも今日感じたことを思い出しながら応援し、オリンピックに興味を持ってもらいたいと伝え、授業終了。

■オリンピック：宮下 純一 先生 (水泳/競泳)【出場オリンピック/北京2008大会】

■期 日：2022年6月30日(木)

■ク ラ ス：2年5組/運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・水泳/競泳競技の日本代表として北京2008大会に出場したと自己紹介した後、運動と座学の時間を通して、楽しみながらオリンピックを身近に感じてもらえる時間にしたい。オリンピックシンボルの5つの輪はオリンピックでは「アジア」「ヨーロッパ」「アメリカ」「アフリカ」「オセアニア」の5大陸を意味し、スポーツを通して世界が輪で繋がることを表していると説明し、準備運動に移る。

○主運動等



・主運動では新聞ボール運びリレー(全3回)を実施。2班1チームに分かれ、チーム内で2人一組になり、新聞紙の上に乘せたボールを落とさずに運び、コース上にあるコーンを回り、手を使わずに次のペアへボールを渡し、如何に早くゴールできるかに挑戦した。1回目はバレーボールのみを使用、各回で作戦タイムを設け、2回目、3回目はボールの種類を増やし、自由に選択できるようにした。



・運動の時間を振り返り、オリンピックでも予選、準決勝、決勝と勝ち上がっていくに連れて、前回のミスをどのように修正していくかを話し合うことが大切であり、作戦を立てることで、これまでに勝てなかった相手にも勝利することができるようになる。座学の時間では、オリンピックでの経験を通して学んだことや感じたことを紹介し、皆にもオリンピックを身近に感じてもらえるように掘り下げて話していきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 宮下 純一 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年6月30日(木)

■ **ク ラ ス** : 2年5組/座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



・オリンピック選考会と北京2008大会の映像を見せながら、水泳/競泳競技を紹介し、オリンピックに出場するには選考会で派遣標準記録を突破し、さらに2位以内の順位でゴールしなければならない。ライバルや仲間がいたからこそ、諦めずに一生懸命頑張った結果、オリンピックに出場し、メダルを獲得することができた話す。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問 : ①日常生活を振り返り、皆の中でのオリンピックバリューを感じる場面を思い返して書き出そう。

②コロナ渦で生活しながら感じたオリンピックバリューを書き出そう。

発表 : エクセレンス : 「練習を頑張ったらシュートを決められた」「ライバルに勝ちたくて自主練習をした」等

フレンドシップ : 「お互いに理解したら仲良くなれた」「行事で仲間を信じた」等

リスペクト : 「ずっと勝てなかった相手に勝った時、おめでとうと言われた」「手紙を書いて感謝の気持ちを伝えられた」等



・運動と座学の2時間を通じて、オリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」がどのように繋がっていたのかを話したが、コロナ渦で失ったものもあった分、人の優しさに気付くことができた。皆も人生を歩いていく中で乗り越えなければいけない場面が出てきた際に、今日の授業を思い出して、夢や目標に向かって乗り越える1つのきっかけにしてほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 小菅 寧子 先生 (セーリング) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年7月1日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年6組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



・北京2008年大会にセーリング競技の日本代表として出場したと自己紹介し、運動の時間ではエクセレンス：「全力で頑張る」、フレンドシップ：「友達と協力する」、リスペクト：「ルールを守る」という3つの約束を守って取り組んでほしいと伝え、準備運動に移る。

○主運動 等



・準備運動では、ストレッチを実施後、新聞じゃんけんバランスを実施。広げた新聞紙の上に立ち、じゃんけん勝負で負け、あいは新聞紙を手で半分に折り、新聞紙の上について立てられるかを、最後の一人になるまで競う。
 ・主運動では、三目並べリレー(全6回)を実施。2班ずつの対抗戦。スタート地点から5m先にある9つの輪の中に、ハチマキを縦、横、斜めの一列に先に揃えられるかを競う。カラーコーンをタッチして次の人へ交代する。



・運動の時間を振り返り、授業の最初に伝えた3つの約束事「全力で頑張る」「友達と協力する」「ルールを守る」をしっかり守って取り組んでくれた。座学の時間では、オリンピックバリューの3つ価値について、オリンピックでの経験を通じて感じたことを当てはめて話していきたい。皆も運動の時間で感じたことや作戦タイムで、どのようなことを考えて取り組んだのかを忘れないでほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 小菅 寧子 先生 (セーリング) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年7月1日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年6組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



・北京2008大会の映像を流しながらセーリング競技について説明した後、近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンについて説明。運動の時間でオリンピックバリューとは何かを感じることができたと思う。座学の時間ではオリンピックでの経験を通して学んだことを話していきたい。オリンピックバリューはオリンピック選手だけのものではなく、皆の身近な所にも存在していることを知ってほしいと伝え、授業の目的を確認。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：運動の時間を振り返り、オリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「考えて頑張ること」「作戦を練ってベストを尽くした」「ガッツ」等

フレンドシップ：「掛け声を掛け協力する」「笑い合う」「仲間と協力してできたこと」等

リスペクト：「相手を尊重しルールを守った」「競技を楽しみ競技への尊重」「頑張ってる姿を応援すること」等



・座学の授業を振り返り、短い時間の中でオリンピックバリューについて考え、感じたことをたくさん発表し学んでくれたことは、今後、普段の生活の中でも通じることがあると思う。夢や目標に向かって真剣に頑張ることで、身近な人が支えてくれ、応援してくれているので、今日学んだことを忘れず、目標に向かって突き進んでほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 小菅 寧子 先生 (セーリング) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年7月1日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年7組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



・北京2008年大会にセーリング競技の日本代表として出場したと自己紹介。運動の時間で体を動かしながら、オリンピックとは、どのような大会かを知ってほしい。オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の意味を説明し、運動の時間では一生懸命頑張り、お互い思いやりの気持ちを持って取り組んでほしいと伝え、準備運動に移る。

○主運動 等



・準備運動では、ストレッチを実施後、新聞じゃんけんバランスを実施。広げた新聞紙の上に立ち、じゃんけん勝負で負け、あいは新聞紙を手で半分折り、新聞紙の上でいつまで立っているかを、最後の一人になるまで競う。
 ・主運動では、三目並べリレー(全6回)を実施。2班ずつの対抗戦。スタート地点から5m先にある9つの輪の中に、ハチマキを縦、横、斜めの一行に先に揃えられるかを競う。カラーコーンをタッチして次の人へ交代する。



・運動の時間を振り返り、皆、一生懸命頑張って授業に取り組んでくれ、作戦タイムでは、意見を出し合い協力しながら話し合っていた。座学の時間では、運動の時間で感じたオリンピックバリューが、どのように日常生活と繋がっているのか、オリンピックでの経験を通して伝えていきたい。授業の最初に伝えた約束事をしっかりと守り、取り組んだことを忘れないでほしいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 小菅 寧子 先生 (セーリング) 【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日** : 2022年7月1日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年7組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



・セーリング競技の映像を見せながら、一斉にスタートし、風向きや風の力の変化を読みながら如何に早くゴールできるかを競う戦略的な競技であると説明。近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンやオリンピックシンボルの5色と、背景の色を合わせた6色で世界の国旗を表すことができ、「世界平和」や「一体感」を表していると説明。皆にはオリンピックとは、どのような大会なのか、オリンピックバリューがどのように繋がっているのか話していきたいと伝え、グループワークに移る。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：運動の時間を振り返り、オリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「諦めない」「作戦を練ってベストを尽くした」「チーム全員が全力で走ったこと」等

フレンドシップ：「協力して作戦を立て次に活かした」「仲間を応援した」「声掛けができたこと」等

リスペクト：「負けても相手を尊重した」「ルールを守ることができた」「点を入れてくれた仲間への感謝」等



・座学の授業を振り返り、オリンピックバリューは皆の普段の生活の中にも繋がっている。これからの生活の中で、今日学んだことを忘れずに一生懸命に何事にも全力で取り組み、協力し合ってほしい。真剣に取り組む続けることで、周りの人からの支えや応援してもらえることで、目標に向かうことができる。皆は成長段階であり、今、食事をしっかりと摂ることで、体の作りが変わってくるので、食事は大切にしてほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



・2年2組



■集合写真

・2年3組



・2年4組



■集合写真

・2年5組



・2年6組



■集合写真

・2年7組



■ 記念品贈呈

・2年1組



・2年2組



・2年3組



・2年4組



・2年5組



・2年6組



・2年7組



■ 修了証贈呈

